

「今年のにほんごコンテスト2021」  
入賞作品一覧

□中学生以下の部

(順不同・敬称略)

別	今年のにほんご	応募者名	住所	理由
1 席	うまずたゆまず	酒向 律希	岐阜県賀茂郡 川辺町	なにごとにも一生懸命がんばれる友達を見てとても勇気をもらえたとし、これからも、うまずたゆまず進んでいくことは、誰にとっても大切なことだと思うのでこの言葉にしました。今年も努力をおこたらぬようがんばりたいです。
2 席	湯の曲輪	中村 椎華	石川県加賀市	私は毎日総湯に入りに行くので湯の曲輪を毎日目にします。古総湯を囲むように人が行き来している景色や建物(旅館)の様子が美しいと思います。今年はコロナでさみしそうな湯の曲輪を何回か見ました。とても悲しい気持ちになりました。最近、前のような姿が戻ってきました。山代からこの景色がなくならないよう私たちも守り続けたいです。
	うまそな子や	谷口 依吹	石川県加賀市	『うまそな子や』は加賀弁で元気そうな子どもという意味です。妹が赤ちゃんの時に、うまそな子やねと言われていて、その意味を知って安心しました。日本、そして加賀市でも産まれる赤ちゃんの数が減少していて大変だと聞いたことがあるので、『うまそな子』がたくさん産まれてほしいです。
	勇往邁進	山本 理久	山口県柳井市	目標に向かって前進することという意味です。ぼくは福祉士になりたいです。コロナ禍で大好きなおばあちゃんと一年近く会えていません。月一回のリモート面会ではなく早く手を握ってお話出来るようになりたい。そんな中、施設職員の人たちは一生懸命頑張ってくれています。ぼくもそんな一員になりたいです。
3 席	雲外蒼天	松矢 侑季	石川県加賀市	私は漢検の3級をとるために漢字や四字熟語をたくさん勉強していました。「雲外蒼天」というにほんごはこの勉強中に会った言葉です。今年はコロナが流行ったことにより、自分の行動や学校の行事などたくさんのが制限されてきました。また、私は受験生ということもあり、勉強ばかりの生活で、正直つらいと思ったことが多かったです。そんな時に「困難を乗り越えて、努力して克明すれば明るい未来がある」という意味の込められたこの言葉のおかげで今のこの時期を乗り越えようと強く思うことができました。コロナで毎日大変な医療関係の方や私のような受験生にこの言葉を贈りたいと思いました。
	麗らか	中立 芹菜	石川県加賀市	「麗らか」とは空が晴れている日が柔らかくのどかみ照らっているさまのことです。麗らかな一日だと木々や花々、そして植物までもが豊かに笑っていると思いました。日が一日でも多くあればすてきだなと思ったのでこの「麗らか」を選びました。
	十人十色	橋本 果恋	石川県加賀市	すごく心配性な私は、自分と他人を比べてしまうくせがあります。でも、いつも「十人十色」という言葉を思い浮かべて前向きに行くようにしています。世界中の1人1人にいろいろな個性がありすばらしいものだと思います。私はこの言葉を忘れることなく生きていきたいです。
	ついているよ	高辻 羽音	石川県加賀市	私は「ついているよ」という言葉を大切にしたいです。人は絶対に一人で生きることができないから、人は他の誰かがついていないといけないから、人の心は誰かがそばにいてついていればやさらかになるからです。わたしは悲しくなったりつらくなったりしても「ついているよ」と言ってもらったらとてもうれしいからです。「ついているよ」という一言で人の気持ちは楽になります。だから、「ついているよ」という言葉にはとても感謝しています。家族にも「ついているよっていい言葉だよ」っていわれます。いつもその言葉を胸にしてこれからの人生を大切に他の誰かにも「ついているよ」の言葉の大切さを教えていきたいと思いました。
	ふつう	井上 恵愛	石川県加賀市	2020年は色々なことがありました。一番の出来事と言えば、新型コロナウイルスです。新型コロナウイルスでたくさん影響がありました。修学旅行がなくなったり、学校に行けなくなったり、あまり外に出てはいけない状態になったりもしました。そしてたくさん命が失われてしまいました。仕事がなくなったり、医療に関わっている人たちもすごく大変な状況下にいます。そんな大変な中で世界中が工夫してこの大変な状況を乗り越えようとしている姿に感動しました。このふつうじゃない世の中が一日でも早くふつうになってほしいと思いました。

## □一般の部

(順不同・敬称略)

別	今年のにほんご	応募者名	住所	理由
1 席	うましね(美稲)	河畑 孝夫	石川県加賀市	山代小学校の卒業生なら誰もが歌った最初のフレーズ、「?うましねみのる 江沼野の」が懐かしさとともに印象的です。この土地が地の恵みによって栄えて来た歴史が、象徴的に表現されていると思います。 さくしを手がけたのは、金沢出身の国文学者で万葉集の研究でも知られる、鴻巣盛広氏。
2 席	「ぬくもり」	安藤 知明	大阪府豊中市	幼い頃いじめられっ子で、泣いて帰ってくると母が黙ってぎゅっと抱きしめてくれました。母の「ぬくもり」が全身に伝わってきて安心・安堵し、泣き止み泣き疲れて眠ってしまうのでした。昨年はコロナ禍で社会的距離を取らねばならず、「ぬくもり」の伝わる行為は控えられました。会いに飢えた人にとっては、寂しい孤独の年でした。今年はコロナとも共存しながら、たくさんの「ぬくもり」を多くの人に伝えたいものです。
	ぬくもり	三上 いずみ	東京都千代田区	コロナは命を奪う恐ろしい存在であると同時に、人間の繋がりも奪っていく。テレワークとなり、人と寄り添うことで醸し出されるぬくもりや安心感。それがどんなに大切だったかを再認識。だからこそ、一人一人がぬくもりの言葉を胸に、ひとにあたたい存在となり、コロナに立ち向かおう。医療関係者や社会基盤をささえてくださる方々に心から感謝。終息したら、家族や友人と温泉で肌のぬくもりを感じたい。その日が早く来ることを願う。
	空蟬	池山 夏美	東京都葛飾区	「この世に現に生きている人」という実態のある意味を持ちながら、一方で漢字の示す通り「蟬の抜け殻」の意味も持つ。蟬の抜け殻からは空虚な寂しさすら感じられる。一つの言葉で相反するような意味を持つところがおもしろく「うつせみ」という語感も美しい日本語を感じさせる。新古今和歌集でも「つれもなき人の心は空蟬の むなしき恋に身をやかへてむ」と謳われており、片思いの寂しさと虚しさを美しく表現している。
3 席	うたかた	平山 けん	東京都大田区	泡沫と書くうたかたには、泡が消えるようなそんな儂さを持ち合わせています。今年、日本だけでなく、地球全体が大変な年だったと思います。その分、やはり悲しみも増え、考えることも増え、一人一人が何かしらで苦しみ、儂さを味わったと思います。そして、あわよくば、コロナも泡のように消えてくれることを切に願ってこの字にしました。
	うがい(有涯)	伊佐山 利郁	埼玉県熊谷市	去年、忘れかけていた大事なことをコロナウイルスによって与えられたような気がしました。生きているだけで幸せだということです。特に日本で暮らしていると生きる幸せを噛みしめながら生活している人は少ないと思います。いつ終わるかかわからない私たちの限るある命と重ねて生きるとは何かを知った2021年ということで、「(うがい)有涯」を今年のにほんごにさせて頂きました。少しだけ手洗いうがいのうがいにも掛けています。
	くすしき	大淵 和代	神奈川県相模原市	両親が仕事に忙しく寂しかった子供時代、年の近い叔母は鈴のような声で童謡を歌ってくれました。その中でも私は「冬の星座」が好きでした。歌詞の「くすしき光よ」の意味を問う幼い私に、人知の遥か及ばない自然界の理への畏敬がこの一語に込められているのよ、と叔母は目に表情を込めて易しく、優しく教えてくれました。叔母との「くすしき縁」が緩なした思い出は年ふるほどにつよいくとおしく胸をとらえてやみません。
	寸草春暉	原 有里	宮城県仙台市	父母の愛情は大きく、それに子が少しでも報いるのが難しいことの例えです。私は今年、新社会人になると同時に一人暮らしを始めました。今まで両親と暮らしていた時には気付かなかった有り難さや、社会人としての偉大さを感じました。同時に新型コロナウイルスの影響で両親にも会えない日々が続き、より一層今まで両親の大きな愛情を受けてきたことを実感したため、この言葉を選びました。これから少しでも両親に恩返ししたいです。
	末広がり	前川 圭子	石川県加賀市	扇のように先が広がっていくことから次第に繁栄していくこととして縁起がいい言葉。コロナ禍の中で全体が閉塞感に包まれている状況ですが「末広がり」のようにこの先必ず元気な明るい社会になると希望を持って今を頑張りたいです。

□【特別賞】中学生以下の部

(順不同・敬称略)

別	今年のにほんご	応募者名	住所	理由
特別賞	うまずたゆまず	佐々木 心音	岐阜県賀茂郡 川辺町	今年は、受験があり、中学校生活と高校生活を一生懸命にがんばる年だから。
	うららか	春山 凜	鳥取県西伯郡 大山町	空が晴れて、日が柔らかくのどかに照っているさま。去年は新型コロナウイルスの影響で、社会全体が暗くなってしまった。私自身も修学旅行などのイベントがなくなってしまい、落ち込んでいました。今年こそ、麗らかな日々を過ごせるようにしたい、という願いからです。
	雨奇晴好	大杉 翼	石川県加賀市	私は昔から雨が苦手でした。傘をさすのはめんどくさいし、気分が落ちこむからです。でも、祖母にこの言葉を教えてもらってからは、雨に対する印象は変わりました。「雨奇晴好」は晴天でも雨天でも山水の景色がそれぞれの趣を異にして眺めがいいことです。この言葉を胸に見た雨天の景色は、美しく、心に残るものでした。そして同時に、この言葉の美しさも感じました。だから私は、雨の新しい景色を見せてくれたこの言葉を大切にしていきたいと思います。
	末枯野（うらがれの）	西尾 日尚太	石川県加賀市	まず、「末枯野」というのは、晩秋の頃、草や木の葉先から色が変わり、そこから枯れ始めますが、付け根をはじめ大部分にはまだ緑を残している状態の野原のことです。僕は小学一年生の秋まで、京都に住んでいました。石川へ向かう車に乗る少し前に家の近くにあった野原にいました。よく木の枝や草を見ると、夏までは、いきいきとしていた草は、枯れていて、「ああ、もうすぐ秋が終わるのか、そして京都ともうおわかれなのか。」と少し寂しいですが、草には、ほんのわずかの緑があり、「でも、今から石川であたらしい人生を歩むんだ」と楽しみもありました。このむかしのエピソードが思い出だったのでこの「末枯野」にしてせいかいでした。だから「末枯野」を選びました。
	冬来たりなば春遠からじ	和田 裕希子	石川県加賀市	この言葉には、冬が来たら、春もそんなに遠くない、つらい時期はあっても、やがては良い時期がやってくる。という意味がある。私は今、部活の大会に向けて練習をしている。練習は大変だが、この言葉に出会ってつらい練習ものり越えたら、良い結果につながると思う事を感じた。これからは部活以外にも大変だなと思うことがあるかもしれないから、そのときは「今をのり越えれば良い事がある」と明るい気持ちでがんばっていこうと思った。
	『雀色時』すずめいろどき	坪野 蒼那	石川県加賀市	古文を勉強していると、同じ意味でも昔は色んな表現方法でその時々様子を巧みに伝えてきたのだと感じる。夕暮れ時を意味するこの『雀色時』という言葉もその時の空の様子をより伝えるように表した言葉なのかな。私は、この言葉の使い方素敵だと感じました。
	うれしいな	溝口 貴子	鹿児島県 出水市	人と人を結ぶ嬉しい気持ちを表現する言葉だと思います。自分の努力が報われたとき、人に対する感謝のありがとうという気持ちも入っているので、私は好きです。
	ぐず焼き祭り	山崎 大輝	石川県加賀市	この言葉は、動橋町に伝わる祭り「ぐず焼き祭り」です。ぼくの祖母が動橋町に住んでいるかげいで、物心ついたころから、この祭りに参加していました。保育園の友達たちとみんなで力を合わせて「ぐず」をかつぎました。（ぐずはみこしのような物）昔はとてつもない人見知りでしたが、皆さんの人となりに対しては好きではありませんでした、でも不思議なことに、この祭りの時は皆さんの人となりに対しては好きでも、とても楽しいのです。この祭りに何度も参加していると、人見知りがなくなるどころか元気をもらえるようになりました。祭りに参加している人々はみんなすがすがしい顔をしていて、「ザ・祭り」と思わせてくれます。でも、今は中学生で、なかなかヒマがでず、さらにコロナの関係で今年のぐず焼き祭りは中止になってしまいましたが、なにか大変なことがあるとこの「エピソード」を思い出して、今をがんばっています。「ぐず焼き祭り」は、何があっても一生忘れません。
	好きこそものの上手なれ	作川 咲綺	石川県加賀市	私は部活動のバレーボールの練習で好きではない長距離走トレーニングや筋トレのときは「やりたくない」「はやく終わりたい」と思いながらしていました。ですが、このことばを知り筋トレをするときにこれをする意味やすると良い点、やっていると楽しいと感じる時はいつかを意識するようになりました。そうすると、長距離走や筋トレの楽しさに気づき、好きになることができ、以前よりもタイムが速くなりました。試合のときにも、長距離走や筋トレを頑張ったおかげで体力がなくなることはありませんでした。好きではないことや、したくないことも、いやいややるのではなく好きになることで、上手になることもできると気づきました。苦手が好きになるのはすごいことだと思います。この言葉を大切にし、これからは苦手なことに挑戦していきたいです。
	すごいじ	沼田 実優	石川県能美市	友達の事をほめる時についつい使う言葉です！ 石川の方言を調べた時に方言だと知りました。

特別賞	瑠璃	稲葉 依吹	石川県加賀市	瑠璃色はとてもきれいな色なためとても好きです。瑠璃を見たことがないので見たみたいというあこがれもあります。きれいな鉱石、自然の生み出す美しいものは大好きです。そのようなものを目にするたび自然のすばらしさを痛感します。あとはら行の文字が軽やかな感じで好きなので！
	繋がる	幸村 直輝	岐阜県賀茂郡川辺町	今、自分が幸せに暮らせたり、コロナにかからず安全に生活できるのは、多くの人のおかげで繋がっている思うのでこの文字を選びました。
	福笑い	西村 龍輝	石川県加賀市	福笑いは正月にする室内遊戯だ。僕はしたことがないがきっと福笑いで家族みんなが笑ってこの笑顔で一年乗り越えましょうという意味だと思う。この言葉を選んだ理由は、今の時期コロナでみんなが苦しいおもいをしている中でますます笑うということが大事だと思ったからだ。誰かが笑ってそれにつられて自分も笑えばきっとみんないい気分になると思った。
	うろこ雲	福田 夕祈	石川県加賀市	日本ではうろこ雲は台風や移動性低気圧が多く近づくため秋は特に多く見られる秋の象徴的な雲だとされています。私がうろこ雲という言葉を選んだ理由は三つあります。一つ目は、小学校の時に友達とけんかしたときに空を見上げると、特に秋などうろこ雲がよく見えて励ましてくれたからです。また、辛いことがあったときなどほとんどうろこ雲が空にあり励ましてくれたり背中を押してくれているような気がしていつも前向きな気持になれたからです。二つ目は、うろこ雲は巻積雲という種類で高度5000~15000mにできる雲です。これは雲のできる高さの中でも高いほうです。私はうろこ雲を見るときどのくらい高いところで出来たのだろうと思います。そしてうろこ雲のように高いところを目指していこうと思えるからです。三つ目は、うろこ雲を見る仲間と集まって協力していこうと思えるからです。うろこ雲は、その名の通り非常に小さな雲片が多数雨の群れをなし、集まって魚の鱗のような形状をした雲です。うろこ雲は多数の雲片があってこそうろこ雲だから私も多くの仲間と集まって一つの作品をつくりあげたいと思えることばでいつも心のなかにあることばだから選びました。私には上記三つの理由で「うろこ雲」ということばを選びました。
	ゆっくりでいいよ	出村 琥珀	石川県加賀市	私は、いそいだりすると、余計に迷ったり、忘れ物をしたり、なにか失敗を起こしてしまうので、この言葉をかけられると、どこかほっとするというか気持ちが楽になるので、とても嬉しい一言です。なので、もし人生の中で出会う人で自分のようにいそいだりして失敗を起こすような人と関わることがあるとしたら、この言葉をかけたいと思いました。

□【特別賞】一般の部

(順不同・敬称略)

別	今年のにほんご	応募者名	住所	理由
特別賞	「空蟬」うつせみ	大久保 珠里	石川県加賀市	一度、蟬の抜け殻を見つけたことがあります。 幼虫の間、十数年も土の中で過ごし地上に出てからの成虫期間は10日ほどと言います。 「空蟬」は古くから万葉集や源氏物語、短歌や俳句などに多く使われ、今は「儚い」というような意味で使われるようです。 年々、ITやDX化が進む時代ですが、「空蟬」はずっと日本人の心の中に留めておきたい言葉だと思います。
	うたかた(泡沫)	合志 星羅	神奈川県横浜市	うたかた(泡沫)とは、水の上に浮く泡である。又は水の泡のように消えやすくはかないものの例えである。全世界的に未曾有の危機にあるコロナ禍の今こそ人の命の儚さをいう言葉として、諸行無常のあるいは有為転変の世に生きる人の命の例えとして、このうたかた(泡沫)こそふさわしい言葉はないと思います。『方丈記』の冒頭文にも出てくる有名な言葉です。
	ふふふ	柳原 正人	大阪府大阪市	思わずこぼれた笑顔と笑い声をイメージで、ふふふ。 新型コロナや災害など、暗いニュースが多い中でも、何気ない毎日で見られる、家族や友人など周りの人のささやかな笑顔を大事にしたい、そんな気持ち表してみました。
	不易流行	新滝 有紀子	石川県加賀市	現在のコロナ禍で社会の取り巻く環境や生活様式が大きく変わる中でも、これからも変わらず守っていかなければならないものがあるから。
	雨過天晴(うかてんせい)	今井 天晴	広島県広島市	去年ほど何もできなかった年はありませんでした。留学は中止になり、実習もオンラインになり、サークルはほとんど活動停止に追い込まれました。 この雨でほとんど先が見えません。また、その雲はどこまでも暗く深いです。 しかし、それでも、やまない雨はありません。雲の切れ間から光が差し込み、やがて天が晴れるのです。 今年がそんな年になるようにという願いを込めて、選ばせていただきました。
	雨過天晴(うかてんせい)	脇本 啓子	奈良県生駒市	コロナ禍で世界中が混乱した今年、この言葉が励みになると思います。 雨はやがて止み、空が晴れて明るくなる…すなわち、悪かった状況も一転して良い方向へ向かっていこうという明るい希望の言葉です。
	うぶすな	清松 由美子	山形県酒田市	祖父母、両親、夫も亡くなり、子供達も都会に出て行きました。一人暮らしになって春にはまる6年になります。古くて広い家の冬の台所は凍える寒さです。特に日本海側の冬は、シベリアの風が雪を連れてビュービューと吹きつけます。しかしこの音は、産まれた時から聞いた音。恐ろしくも何故かほっとする音です。ここは私が一番落ち着く場所です。
	上を向いて歩こう	藤内 直仁	高知県高知市	災害もあった。コロナもあった。被害は甚大で、なかなか復興が難しい。けれど人は日々生きている。悲しくても辛くてもどうしようもなくとも、人はどうにかしようともがき、あがきながら生きている。俯いていても仕方ない。明日に向かって、上を向いて歩いている。そんな多くの人達に心からエールを贈りたい。
	つれづれなるままに	久保田 泰央	東京都立川市	この言葉は徒然草の冒頭の文章です。意味は"何もやる事がなく手持ち無沙汰である"です。今世界はコロナの流行で我々は家で過ごす時間多いその時 我々は孤独に任せて自分の心に向かい合い物思いにふける事が多い。 この事は 前向きに考えると 自分の生き方を 見直す良い機会だと思います。この理由で 今年の"にほんご"に選びました。
	徒然なるままに	山田 祥子	広島県山県郡北広島町	「することもなく、手持ちぶさたなのにかかせて」という意味です。 仕事に家事に育児にと忙しい毎日を送っていますが、このフレーズを思い浮かべるとピンと張り詰めている気持ちがゆっくりとほどけるような気がします。何かと忙しい現代社会ですが、時には立ち止まって「徒然なる」時間を作りたいものですね。
産声	福田 優也	神奈川県横浜市	前年の2020年はコロナ一色の年であり、世界中がその影響を受け、私たちは今、どん底にいる。しかし、どん底というのは、逆に言うと、ここからこれ以上下降することはなく、上昇するしかないことも意味する。産声というのは、始まりの声だ。そこで、世界中が協力して、新たな「産声」を上げて、今この瞬間「産声」を上げた赤ちゃんたちが将来、希望に満ちた生活ができるような世界を作っていく一年にしようという思いを込めた。	

特別賞	草の縁(くさのゆかり)	安井 馨市	兵庫県神戸市	<p>あるものを愛しく思う事で、それに繋がる他の事にも情愛を感じる。転じて、何かの縁で繋がっていることの意。</p> <p>昨年は世界中が天災に見舞われ、人と人の距離を取ることが必須になり、多くの人はそのために様々な部分で困難な生活を余儀なくされた事だと思えます。</p> <p>しかし、逆に、それは人と人が繋がり大切さに気づける機会でもあります。人はどこかで繋がっている。今年は昨年気付かされた、繋がりが縁を大切にしたいです。</p>
	「ふれあい」	安藤 知明	大阪府豊中市	<p>昨年はコロナ禍で多くの人が振り回され、疲弊しました。友人同士で会えず帰省もできず、ストレスは最高潮に達しました。治療もだんだん分かり、ワクチンも供給が始まりました。東京五輪・パラリンピックが開催される予定で、多くの外国人が予防措置を取った上で来日するでしょう。昨年一年間、国内外ともに「ふれあい」の欠如した年でした。今年はコロナとうまく共存しながら、「ふれあい」を深め促進する年にしたいものです。</p>
	春暁	武田 裕子	石川県加賀市	<p>「枕草子」の冒頭の「春はあけぼの・・」や「春眠暁を覚えず」という漢詩が有名ですが、どちらも春の朝の明け方の素晴らしさを詠っています。</p> <p>今は日本のみならず世界中がコロナ渦で苦しんでいますが、「春の来ない冬はない。朝の来ない夜はない。」と云われるように、今はじっと耐えて春暁を待ちたい気持ちでいっぱいです。</p>
	恙なく(つつがなく)	梶本 真木子	徳島県板野郡北島町	<p>コロナに揺れた今年ほど、この言葉の本当の意味が心に響くのではないのでしょうか。経済的にも健康面でも不安を抱える人が多くなり、移動を制限されるなど大切な人に会うことさえままならない一年でした。今まで当たり前だと思っていたことが叶わなくなりましたが、逆にこれまでの幸福に気づき感謝する気持ちも生まれたように思います。どうか皆が無事に過ごせますようにという祈りが、この言葉にはあります。</p>